

北区の部屋だより

2012年2月

第31号



刊行物登録番号 22-2-064

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 ☎03-5993-1125 平成 24 年 2 月発行

北区こぼれ話 第30回

明治時代の東京や北区 の名所を調べるには

明治時代に信仰を集めていたお堂や祠^{どう ぼくら}。開発により消えていった自然豊かな行楽地。東京や北区について、そのようなものをお調べの方に、手にとっていただきたい一冊があります。その名も『明治東京名所図会』上・下巻（東京堂出版、1997年）です。書名が、有名な『江戸名所図会』に似ていて、どうなんだろうと思われがちですが、ページをめくってみれば、明治40年代の地誌としてかなりの「すぐれもの」であることが分かります。この本は、東京史研究の基本文献である山下重民編『風俗画報』の増刊号を再編集したもののなのです。

『明治東京名所図会』下巻の「北郊の部」を開いてみましょう。そこには、北区周辺の神社仏閣や行楽地、お祭りのほか、名所とは言えない国の施設や民間の工場、それに伝説のたぐいも紹介されています。

滝野川村界隈^{かいがい}は、植木などの園芸植物や、人参などの種子の生産で有名だったことが知られています。また、紅葉の名所でもありました。それらに関係のある庭園や農園も掲載されています。今ではほとんど知られていないものが多いので、そのいくつかを詳しく説明しましょう。

田端にあった庭園「筑波園」^{つくはるみ}は、都下で第一に見晴らしのよい庭園とあり「けやきの滝」というものが流れていたそうです。名前から考えると、遠くに筑波山を望む場所だったのでしょう。滝野川の「滝野川園」^{しょうじゅういん}（正受院の西隣）という庭園については、茶亭があり紅葉の名所とあります。「康楽園」^{こうらくえん}という農園（植物園）も、滝野川にあり、西洋草花を専門にしていました。『日本農業雑誌』（読売新聞社発行）編集のための実地栽培試験場だった「西ヶ原農園」というものも載っています。

また、変わった農園としては、滝野川に、「養蜂園」^{ようほうえん}という養蜂場がありました。そして、同じく滝野川にあった「平田飼禽場」^{しきんじょう}は、卵を生産する養鶏場^{ようけいじょう}でした。



一般の農家で収穫される農産物についても集録されています。当時の王子町については「王子町は大字王子を除くのほか、農業地多きを以て其の産物も亦観るべきものあり」とあります。それに続き「米、麦、各所に産す」とありますから、この本が出版された明治40年代、王子町の農家では、日本の多くの農村と同様に、米と麦を生産していたことが分かります。さらに「大根、大字上十条下十条に産す。殊に上十条一部の地は早蒔^{はやまき}にて良品を出す。干大根は練馬大根の種類にて美味なり」とあります。その他、大字堀之内（現在の堀船）のレンコン、上十条と下十条の白瓜（奈良漬けとして販売）、王子みやげとしてお茶が掲載されています。都市近郊農村ということで、園芸用の花木や、漬物用の野菜などが生産されていたということなのでしょう。

なお、残念なのは、赤羽周辺や浮間についての記述がないことです。

この『明治東京名所図会』上・下巻は、北区立中央図書館（地域資料・東京）でご覧いただけます。

【北区の部屋・地域資料専門員 黒川徳男】



北区の部屋・今月の展示

【展示期間】 1月27日(金)

～2月22日(水)

【場 所】 北区の部屋展示コーナー

観光スポット「飛鳥山」の変遷～江戸名所

江戸時代、八代将軍徳川吉宗が桜を植えて以来、一躍人気の観光スポットとなった飛鳥山。

しかし、人びとが飛鳥山に訪れた理由は桜だけではありません。そこで、今月の展示では、江戸・明治そして、昭和などさまざまな時代の飛鳥山を取り上げ、当時の人びとが、飛鳥山に何を求めていたのかを探ります。

北区の歴史はじめての一步

赤羽西地区編

滝野川西地区編

が同時刊行されました！



「北区の歴史はじめての一步」は、

北区を7地区に分けてそれぞれの地域の特徴を、

写真や図版、地図などでわかりやすく解説した地域歴史入門書として作成しました。

今回の「赤羽西地区編」では、江戸時代の村の様子や、盛んであった野菜生産の話、「軍都」北区にあった軍事施設のこと、戦後の復興とともに変わってきた赤羽周辺の様子などを掲載。

「滝野川西地区編」では、中山道周辺の種屋のようすや、江戸時代の名所としての滝野川のこと、大砲製造所と千川上水のはなしや、田端文士芸術家村について紹介しています。

どちらも巻末には、それぞれの地域の事典と題し、駅・鉄道・川・橋や道・石碑、石像物・寺院・神社なども紹介。その場所をマップに記載して地域めぐりの案内書にも活用できるようにしています。また、小学生にも理解出来るよう工夫し、地域学習の参考として、区内小中学校の図書室や該当地域の区立小学生（3年生）に無料で配布する予定です。

B5判、赤羽西地区編64頁、滝野川西地区編68頁。

この冊子は、区内図書館で貸出するほか、1冊300円で販売もしています。

【販売場所】

中央図書館レファレンスカウンター、飛鳥山博物館、区政資料室（北区役所第一庁舎1階）

また、既刊「赤羽東地区編」「王子東地区編」「滝野川東地区編」も好評発売中です。

ぜひ、一度手にとってご覧ください。（お問い合わせは中央図書館図書係 03-5993-1125 へ）

中央図書館
「北区の部屋」では、
北区の歴史に
関わる資料を
探しています！

皆さんのお宅に、北区に関わる古い写真や地図・文書などは眠っていませんか？ 中央図書館「北区の部屋」では、このような資料を地域資料として収集しています。江戸・明治期だけでなく、大正・昭和の資料も地域を知るための大変貴重な資料となりますので、ぜひご一報ください。

北区の部屋だより 2012年3月 第32号



刊行物登録番号 22-2-064

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 TEL03-5993-1125 平成 24 年 3 月発行

北区こぼれ話 第31回

武士の名前



第29回の「北区こぼれ話」のコーナーで、農民の名前、特に苗字について記しましたが、武士の名前の方がわかりにくい、といった声もよく聞きます。そこで、今回は武士の名前について紹介します。

江戸時代の武士の名前は、基本的に「苗字」+「通称」+「諱」で構成されていて、通常は「苗字」+「通称」で名乗ります。滝野川村の領主であった旗本野間氏の三代目「野間與五右衛門政次」を例に言えば、「野間」が苗字、「與五右衛門」が通称、「政次」が諱（本名のこと）で、史料には「野間與五右衛門」と登場します。周りからも「與五右衛門殿!」なんて呼ばれていたのでしょう。逆に言えば、諱はほとんど使われることはありません。

一般に「通称」は、家で引き継がれ、野間家では五代目の「正利」や十二代目の「正保」も「與五右衛門」を名乗っています。さらに、当主が代々同じ「通称」を名乗る家も多く、東叡山寛永寺の所領を支配していた田村権右衛門の家では、江戸時代を通じて、当主は「権右衛門」です。

さて、この「通称」は、一定の位階に就き、受領名（越前守など）や官職名（雅楽頭など）が与えられると、以後は名乗らなくなります。野間家十二代目「野間與五右衛門」（正保）も、「越中守」に叙任されて以降、「野間越中守」を名乗ることになりました。

これが非常に理解しづらいと見え、「野間越中守って、本名は與五右衛門なんでしょ?」とよく聞かれます。「違う」と答えると、「えっ?えっ?!」となるようなのですが、與五右衛門は、あ

くまで叙任される以前までに名乗っていた「通称」であり、別に本名という訳ではありません。本名と言うなら、叙任以前も以後も変わることなく、諱である「正保」です。

野間家の場合、系譜書が残っていたので「政次」や「正保」なども諱を確認できましたが、史料に記されないことが多いため、実際には実名不明の武士は非常に多いのです。

以上、簡単に武士の名前について説明してみましたが、何となくでも判りましたか?!



越中守

與五右衛門?

【北区の部屋・地域資料専門員 保垣孝幸】

展示

2月24日（金）～

3月29日（木）

今月は、北区図書館活動区民の会・地域資料部会が企画運営する展示です。

北区の同潤会住宅



1月28日に中央図書館で行われた、区民の会地域資料部会企画・運営講演会「北区の同潤会住宅」の関連展示を行います。

関東大震災後復興事業として、赤羽や十条にも同潤会住宅がつけられました。講演会の内容を盛り込み、そのなりたちや背景について展示します。

今月の予定

中央図書館公開歴史講座

飛鳥山に桜を植えたら・・・

講演会

～地域資料から見る北区にとっての飛鳥山～

吉宗による植樹以降、北区の村々はどう変わったのか？

地域の視点から飛鳥山の植樹政策をお話しします。

日時：3月10日（土） 午後2時～4時

場所：中央図書館（3階ホール）

講師：北区の部屋・保垣孝幸地域資料専門員

（募集は終了しました）



中央図書館
「北区の部屋」では、
北区の歴史に
関わる資料を
探しています！

中央図書館「北区の部屋」では、このよ
うな資料を地域資料として収集していま
す。江戸・明治期だけでなく、大正・昭和
の資料も地域を知るための大変貴重な資
料となりますので、ぜひご一報ください。

皆さんのお宅に、北区
に関わる古い写真や地
図・文書などは眠ってい
ませんか？

地域資料・新着案内



書 名	著 者・編 者	発 行
重要無形文化財保持者（人間国宝） 奥山峰石仕事集		奥山峰石
池波正太郎の東京・下町を歩く	常盤新平/著	KK ベストセラーズ
韓流パラダイス新大久保へようこそ	（別冊家庭画報）	世界文化社
北区長に聞く-2012新春-（DVD）	北区政策経営部広報課/編	北区政策経営部広報課
東京人 2012年3月号（306号） 特集：東京鉄道遺産100	都市出版/編	都市出版
日本文学史 近代・現代篇4（文庫版）	ドナルド・キーン/著	中央公論新社
東京都北区各会計予算（平成24年度）	北区政策経営部財政課/編	北区政策経営部財政課
東京都北区予算説明書（平成24年度）	北区政策経営部財政課/編	北区政策経営部財政課
東京都北区補正予算・補正予算説明書（平 成24年第1回定例会）	北区政策経営部財政課/編	北区政策経営部財政課

北区の部屋だより

第33号

2012年4月



刊行物登録番号 23-2-076

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 TEL03-5993-1125 平成 24 年 4 月発行

北区こぼれ話 第32回

美談を語ることの難しさ

— 関東大震災の美談集に描かれた滝野川町 —

関東大震災の後、東京府は、各区役所や町村役場、警察署、学校から「美談」を集めました。そして、それらは救命・防火・責任・愛情・救護の五つに分けられ『大正震災美績』(東京府編、大正13年)に掲載されました。その本の序文には「人類愛」「犠牲の精神」「慈愛」「驚異賛嘆すべき一大美績」などの文字が躍っています。

この『大正震災美績』の中に、滝野川町の様子を紹介した「篤志家が多くて幸福な町」という一文があります。文の冒頭は、滝野川町長の「全町を挙げて克く活動し、これという遺憾な点もなかった。が、其の中にも渋沢子爵を初め多くの篤志家があつて」という言葉から始まります。この文によれば、震災の翌日の夜には、17万から18万の人々が、下町や都心から、滝野川町に避難してきたそうです。そこで、飛鳥山邸に住んでいた渋沢栄一は、避難民のために、郷里の埼玉県から3千から4千俵の米を買い入れました。荒川鉄橋が不通のため、荷馬車やトラックの輸送賃

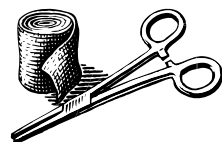


「大正震災美績」
東京府編 大正13年

も自費で支払ったというのです。また、飛鳥山の邸宅は開放され、滝野川町の食糧本部のようになり、味噌や野菜、缶詰などが、うず高く積まれたのだそうです。渋沢家は、400枚の布団を買い入れ寄付したともあります。



古河邸も、震災とともに開放されました。9月2日の夜には、邸内



に約3千人が避難したそうです。そして、古河邸には「滝野川町 救療所」との名前が付けられました。古河家は、私費2万円を投じて薬品を購入し、けが人などの治療に役立てたそうです。結局、邸内には、23棟ものバラックや、託児所が設けられました。

惜しいことに、この文章は「滝野川町には篤志家がいってよかった」というだけで終わっています。では、将来、篤志家がいなくなったらどうするのか、あるいは、篤志家の善意を前提にするとしても、彼らと協定のようなものを結んでおくことの必要性について、一言付け加えたほうが、意義のある文になったと思うのですが、いかがでしょうか。

【北区の部屋・地域資料専門員 黒川徳男】

地図の個性－こんなにちがうトロッコ線路や引込線の描かれ方－

地図は、万能ではないのです。同じ場所を描くにしても、何を描くかは、地図によって異なるのです。例えば、ほぼ一つの地点に、丁目の境界、工場の境界、河川、区道、線路、踏切、並木、鉄塔、ガケなどが、集中してあったとします。しかし、かなり小さなスペースに、それら全部の地図記号を描くのは不可能です。結果的に、この中のどれかを選択することになります。つまり、地図によって、描き方に差ができてしまうのです。



今回の展示では、かつて区内にあった^{りくぐんそうへいしょうけいべんせん}陸軍造兵廠軽便線（軍用トロッコ）や旧国鉄の引込線などの描かれ方が、地図によって、どう異なっているのかをお示し、地図の個性について明らかにします。

古文書入門講座 「北区の古文書 基礎の基礎」

のお知らせ

開催期間：平成24年5月11日から6月15日まで
の毎週金曜日（全6回）

時間：午前10時～12時

場所：中央図書館3階ホール

対象：区内在住・在勤・在学の18歳以上の方

講師：保垣孝幸 地域資料専門員

申込方法：4月10日号の北区ニュースをご覧ください
か中央図書館事業係（☎03-5993-1125）にお問い合わせください。



北区公開歴史講座

飛鳥山に桜を植えたら・・・

～地域資料から見る

北区にとっての飛鳥山～
が開催されました。

3月10日（土）中央図書館3階ホールで、保垣孝幸地域資料専門員による講座が、多くの区民の皆さまのご参加をいただき、盛況のうちに終わりました。

北区の戸部家から発見され、現在調査・整理中の文書を

中心に、吉宗が飛鳥山に桜を植樹した背景や当時の様子など興味深い内容で大変好評でした。



「北区さくら体操」（北区健康生きがい課編集）は、中高年期にある人たちが、さくらの花々に思いを寄せながら、楽しく体操を続け、体力を保持し、転倒を予防することを目的に、北区が、平成15年6月、武井正子順天堂大学名誉教授監修のもとに團伊玖磨氏作曲の「北区のうた」に合わせて振り付けた健康体操です。

このたび、DVD（立って行う体操編）とCD（改定版）が新たに発行され、各図書館でも貸出を始めました。ご自宅で、またグループの集会等でぜひご利用ください。

（DVD（イス編）・ビデオカセット・カセットテープ・も中央図書館で所蔵しています。）

「北区さくら体操」のDVD、CDは、図書館によって図書資料扱いとされている場合と、AV（視聴覚）資料扱いとされている場合があります。お探しの際はご注意ください。

北区の部屋だより

第34号

2012年5月



刊行物登録番号 23-2-076

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 ☎03-5993-1125 平成 24 年 5 月発行

北区こぼれ話 第33回

震災から一年が経って 「東日本大震災」から学ぶ

みなさんは『北区史』がいつ頃から編纂^{へんさん}が開始されたかご存知でしょうか。1947年（昭和22）3月に北区が誕生してから、これまでに3度の編纂事業が行われ、それぞれ『北区史』『新修北区史』『北区史』を刊行してきました。その最初の『北区史』編纂は、北区誕生の2年後、1949年（昭和24）に事業がスタートし、1951年（昭和26）に刊行されました。私自身、知識としては知っており、特に何とも思っていなかったのですが、最近、改めて考えてみると実はすごいことだと思うようになりました。

そもそも、編纂事業がスタートした1949年はまだまだ戦後復興^{せんごふっこう}の最中。北区でいえば、区役所庁舎が完成し、空襲^{くうしゅうご}後に王子第一小学校の教室を仮庁舎としていた状態からようやく抜け出た年でもあります。日本自体がまだ占領下^{せんりょうか}にあり、人びとの日常生活も米穀通帳^{まいこくつうちょう}や配給切符^{はいきゅうきっぷ}などを利用する統制^{とうせい}下に置かれた状況でした。あちらこちらに空襲^{くうしゅう}の爪痕^{つめあと}も残っており、都電路線^{ふつきゅう}の復旧工事がようやく完了したのもこの年です。こうしたなかで最初の『北区史』は作られていったのです。

この本の「序」で田口安蔵^{たぐちやすぞう}区長（当時）は、「北区の将来」の発展を考える上で、「これまで歩み

戦災からの復興



台地よりみた堀船・中里方面



台地より見た昭和町方面

昭和26年刊行『北区史』より
台地から見た堀船・中里方面（上）
昭和町方面（下）

来た過去の姿」を知ることが重要だから編纂事業に着手した旨を記していますが、同時に「終戦後の混乱と荒廃^{こうはい}の中から平和な社会を打ち立てる為^{けんめい}に懸命^{けんめい}の努力^{なうりょく}を払^{さいけん}って再建^{まいしん}に邁進^{まいしん}して来た私たちも、漸く人心の安定と秩序の恢復を見るに至った今日から当時を回想するとまことに感無量^{かんむりょう}なものがあります」と記しています。すなわち、一方では、戦後の混乱と荒廃の中で復興に向けた「懸命の努力」が払われてきたこと、そして、これをきちんと記録として残しておくことが意図されていたものと思われます。

東日本大震災から一年が経過した現在、少しずつ復興への足音も聞こえるようになりました。これまでに地域が歩んできた記録を大切に引き継ぐこと。それと同時に、今、現在進行形で行われていることをしっかり記録し確実に後世へと伝えていくこと。この重要性を痛感させられるなかで、改めて『北区史』の意味を問い直した次第です。みなさんは震災で何を学びましたか？

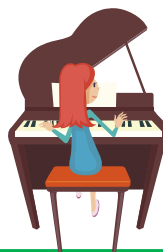
【北区の部屋・地域資料専門員 保垣孝幸】

北区の部屋 4～5月期 展示

「校歌にみる北区の風景」

期間：4月27日（金）～5月23日（水）

場所：北区の部屋 展示コーナー



校歌は、作られた時代などによって様々な違いがありますが、多くの場合、所在地周辺の自然や風土、具体的な地名などが校名とともに盛り込まれます。そこで、今回の展示では、区内の小学校校歌を取り上げ、そこに描かれている北区の風景を探ります。

貸出開始！

DVD(映像)資料 新着案内



このたび、北区立中央図書館では北区の部屋で所蔵している昭和30年代の北区が撮影された16ミリフィルム3点をDVD化し貸出を開始しました。

なつかしい北区の姿をぜひご覧ください。

北区の部屋のDVD資料の棚にあります。

①開都五百年記念大東京祭 北区東京まつり（11分5秒）

内容：太田道灌江戸開都五百年記念大東京祭における北区内行事の映像

制作年（推定）：昭和31年。

②躍進する北区 区政施行十周年記念（20分55秒）

内容：北区区政十周年の祝賀行事や当時の区政の紹介等の映像

制作年（推定）：昭和32年

③躍進する北区 新庁舎建設の記録（32分13秒）

内容：北区役所現庁舎が建設される顛末を撮ったもの

制作年（推定）：昭和35年



地域資料 新着案内

タイトル	著者/編者	出版社
月刊ジェイ・ノベル 2012年4月号 （北区内田康夫ミステリー文学賞発表）		実業之日本社
未知しらべ道しるべ 北区文化財ガイドブック	北区飛鳥山博物館	北区飛鳥山博物館
「弦さんぽ」さくらの町で歌探し 弦哲也 北区の演歌座 2011 【DVD】	北区政策経営部広報課	北区政策経営部広報課
北区伝統工芸保存会 伝え継ぐ、伝統のものづくり 【DVD】	北区地域振興部産業振興課	北区地域振興部産業振興課
東京都名誉都民小伝	東京都生活文化局	東京都生活文化局

北区の部屋だより

第35号

2012年6月



刊行物登録番号 23-2-076

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 ☎03-5993-1125 平成 24 年 6 月発行

北区こぼれ話 第34回

奇妙な地名「^{しもいわぶちまち}下岩淵町」や ^{そとたきのがわまち}「外滝野川町」とは？

様々な地方の役所の方や、郷土史家などの皆様から、北区の部屋へ、しばしば奇妙な地名の問い合わせがあります。「下岩淵町」「下王子町」「下滝野川町」や「外滝野川町」「外王子村」「外岩淵町」などについてです。

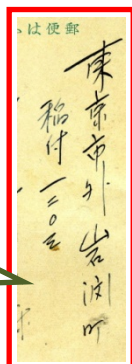
その一例としてお話ししますが、下岩淵町と聞いたとき、現在の志茂には、かつて「下」という字が使われていたので「岩淵町大字下」^{いわぶちまちおおあざしも}のことではないかと思いました。しかし、そうではなく、はっきりと「下岩淵町」と書いてあるということです。上十条や下十条のような区分のことかな、などと考えながら、さらに確認させていただくと、その前に「東京府」と書いてあるとのことでした。そこで「ああそうか」と理解できました。つまり「東京府下岩淵町」^{とうきょう ふ か いわぶちまち}と書かれているのです。「東京府下」の「岩淵町」という意味です。この表記は「東京府」の「下岩淵町」と誤解されやすいのです。

現在も、東京都の区部以外について「東京 都下」^{とうきょう と か}や「都下」という表現があります。それと同様に、戦前の東京府のうち、東京市以外の町村を表すときに「東京府下」や「府下」という言葉を用いたのです。手紙の宛先などを書くときに、よく使われた表現です。

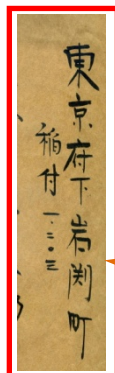
つぎに「外滝野川町」や「外王子町」などですが「はて、内とか外とかそんな区分があったかな？ そんな地名聞いたことないけど、昔はそういうふうに分かれていたのか？」などとも考えました。そして、再度、確認してみると「東京市外滝野川村」^{とうきょうしがいたきのがわむら}や「市外王子町」^{しがいおうじまち}と書かれているようです。なるほど、それならば、東京市外の滝野川村であり、市外の王子町という意味です。昭和7年（1932）10月1日に、東京市域は拡張され、滝野川区や王子区などができました。しかし、それ以前、岩淵町・王子町・滝野川町などの町村は、東京市の外の北豊島郡にあったわけです。そのため、手紙の宛先などに「市外」や「東京市外」といった表現が使われていました（市内と市外で郵便料金が違う時代もありました）。わかってみると、笑い話のようなことですが、不意に聞かれると考え込んでしまいます。

【北区の部屋・地域資料専門員 黒川徳男】

郵便葉書に書かれた
「東京市外岩淵町」
（当館所蔵「柴田家文書」）



封筒に書かれた
「東京府下岩淵町」
（当館所蔵「柴田家文書」）



北区の部屋 5～6月展示

展示期間

5月25日(金)～6月27日(水)

北区と小説『坂の上の雲』の時代



NHK総合テレビにおいて、司馬遼太郎氏の小説『坂の上の雲』がドラマ化されたのは、記憶に新しいところです。その主人公は、海軍士官の秋山真之と、歌人の正岡子規でした。北区には、子規の墓所や陸海軍の工場など『坂の上の雲』に、直接、間接に関わる場所が数多くあります。

今回の展示では、その中からいくつかをピックアップしてご紹介いたします。小説中の文章や、古今の写真などとともに楽しみ下さい。



海軍下瀬火薬製造所跡地
付近にある「下瀬坂」



田端の大龍寺にある
正岡子規の墓

2011年度 北区立図書館 地域資料 貸出ベスト20



順位	貸出回数	書名	著者/編者	出版社	所蔵数
1	273	TOKYO北区時間 2011	東京商工会議所北支部 他	東京商工会議所北支部	45
2	250	東京都北区赤羽1	清野とおる	Bbm f マガジン	11
3	184	東京都北区赤羽2	清野とおる	Bbm f マガジン	9
4	166	東京都北区赤羽6	清野とおる	Bbm f マガジン	7
5	154	東京都北区赤羽5	清野とおる	Bbm f マガジン	7
6	120	昭和30・40年代の北区	三冬社	三冬社	51
6	120	東京都北区赤羽4	清野とおる	Bbm f マガジン	6
8	112	東京生活 No. 30		柊出版社	23
9	83	北区の歴史ははじめの一步赤羽東地区編	黒川徳男/保垣孝幸	北区立中央図書館	91
10	79	東京都北区赤羽7	清野とおる	Bbm f マガジン	6
11	73	北区の歴史ははじめの一步王子東地区編	黒川徳男/保垣孝幸	北区立中央図書館	84
12	72	東京都北区赤羽3	清野とおる	Bbm f マガジン	8
13	68	北区史跡散歩〔新版〕	芦田正次郎/工藤信一	学生社	26
14	66	ぶらっと寄り道江戸歩き	江戸めぐりの会	PHP研究所	14
15	65	おさんぽ東京下町		JTBパブリッシング	9
15	65	大衆酒場巡礼記〔DVD〕	北区地域振興部産業振興課	北区地域振興部産業振興課	15
17	64	都バスで行く東京散歩	加藤佳一	洋泉社	15
18	61	東京下町案内		柊出版社	15
19	60	北区の歴史ははじめの一步滝野川東地区編	黒川徳男/保垣孝幸	北区立中央図書館	86
20	57	東京★千円で酔える店	さくらいよしえ/せんべろ委員会		8

「北区の歴史ははじめの一步（中央図書館発行）」

6月1日から滝野川・赤羽図書館でも販売を始めます。

販売
場所

- ・中央図書館（レファレンスカウンター）
- ・区政資料室（北区役所第1庁舎）
- ・飛鳥山博物館 ・滝野川図書館・赤羽図書館

各巻とも
1冊300円

